



神中だより

No. 3

令和8年6月30日 京都市立神川中学校

心を磨き、未来へと向かい、

自らやり抜く生徒の育成

～ 絆 ・ 夢 ・ 力 ～

Email : kamikawa-c@edu.kyoto.city.jp

7月予定

日	曜	予 定	日	曜	予 定
1	水	2年学習確認プログラム	16	木	三者懇談③
2	木	2年学習確認プログラム	17	金	三者懇談④
3	金		18	土	
4	土		19	日	
5	日		20	月	海の日
6	月		21	火	三者懇談⑤
7	火		22	水	部活動表彰 大掃除
8	水		23	木	夏季休業開始(～8月25日)
9	木	PTA 運営委員会	24	金	
10	金		25	土	
11	土		26	日	
12	日		27	月	
13	月		28	火	
14	火	三者懇談①	29	水	
15	水	三者懇談②	30	木	
			31	金	

8, 9月の主な予定

8月26日(水)2学期開始

9月3日(木)、4日(金)第2回定期テスト

9月15日(火)保護者参観 進路保護者説明会動画配信

9月18日(金)伏見支部授業研修会

「夢や希望は必要か」

一万時間の理論をお聞きになられたことがありますか？

ある分野で一流のスペシャリストになるためには、おおよそ一万時間の地道な練習や学習が必要であるという説です。

一万時間というと、毎日三時間休まず続けて九年、毎日五時間取り組んで五年半ほどです。

多くの大人は、子どもたちに「夢と希望」を持つてもらいたいと考えます。私もその一人です。その多くの大人の中で、中学生時代の自分の夢を実現できた人は、ほばいません。ではなぜ？

「報われることがわかっているなら、どんな努力でも重ねられる」
努力が必ず報われるとは限りません。残酷な現実です。でもこれには但し書きがあります。結果として、努力が形にならないことは多くありますが、必ず足跡が残ります。努力を重ねた過程は必ず残り、その人の生きた証になります。その努力ができたのはその人に「夢や希望」があつたからです。目標が見えない中では、歩みを進めることはできません。結果として目標とは違う場所に着地したとしても、目標設定は必要です。だから、大人は子どもに「夢や希望」を持たせたいのではないのでしょうか？

「這えば立て立てば歩めの親心」といいます。親心は身勝手なものです。子どもたちのペースを自分のペースに置き換えて考え、子どもに

過度な期待を背負わせてしまいます。旅行の往復を思い出してください。行きと帰りで体感時間は大きく変わりませんか？子どもたちは初めて
の往路に戸惑いながらもワクワクしつつ歩いています。ペースを知っている大人がとやかく言うことは不要です。

成長には刺激が必要です。人間は普段、社会や狭い人間関係の中で、仕事や学習を重ねています。同調圧力の強い日本社会ですが、成長するには一人でいる時間を大切にしなければなりません。冒頭の一万時間
も、横並びでは達成不可能でしょう。友人や同僚の輪の中でルーティンワークをこなすこと、これはこれで必要なことですし、安全です。いわゆる「コンフォート・ゾーン」の中です。この中では今以上の成果は期待できません。成長するにはその少し外側「ラーニング・ゾーン」に自

ら入る勇気が必要です。大人の役割は、子どもたちに夢や目標を持つこと
の大切さを教え、子どもたちが抱くそれらを否定しないことです。
先が見えないことを楽しみにできるような、前向きな子どもたちが多
く育つことを願います。

ノーベル賞作家、カズオ・イシグロの「私を離さないで」を読みました。
設定された世界観が「約束のネバーランド」とよく似ていましたが、展
開が全然違って興味深かったです。

夏を感じる日々になりました。みなさま、どうぞ「自愛ください」。